

HORIBA

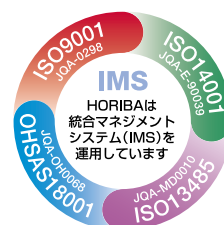
Explore the future

スイッチひとつで、油分の抽出から測定・排液まで自動で実行。

油分濃度計

OCMA-305

新溶媒対応



ワンタッチで、カンタン・高精度に油分測定。

0~200mg/Lダイナミックレンジで、面倒なレンジ切り替えが不要。

工場や下水処理場、また船舶からの河川や海洋への油分排出については、排水基準・海洋汚染防止法によって厳しい規制が設けられています。HORIBAの《油分濃度計OCMA-305》は、すぐれた操作性を実現。試料水を注入後、ボタンひとつ押すだけのワンタッチ操作で、油分抽出から測定・排液までスピーディに行いますので、誰にでも容易に使用できます。さらに、HORIBAでは、抽出溶媒についても、四塩化炭素、S-316などに近似した抽出能力を持ち、しかも毒性のないH-997(代替ハイドロクロフロカーボン)を開発しました。

■主な用途例

- 各種工場排水中の油分測定●下水処理工場の排水中の油分測定
- 自動車整備工場やガソリンスタンドからの排水中の油分測定●タンカーにおけるバラスト水、ビルジ排水などの排水監視●環境基準に基づいた環境調査
- 廃油処理施設での排水中の油分測定と油水分離装置の性能確認●タンカーや石油化学工場における事故発生時の油分拡散調査
- 原油・石油基地における貯蔵タンクの洗浄排水の水質監視●研究室・実験室での油分濃度測定

OCMA-305ならではの特長。

スイッチひとつで、油分抽出から測定・排液まで自動で実行。

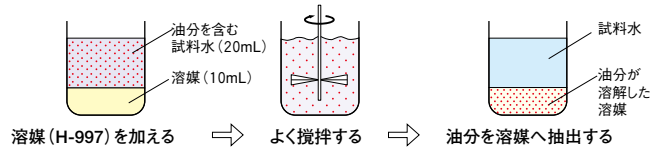
試料水の注入後、STARTボタンを押すだけで、油分の抽出・測定・排液まで自動で実行。排出弁の開閉など、面倒な操作がなく、測定のスピードアップが図れます。

レンジ切り替え不要の0~200mg/Lダイナミックレンジ。

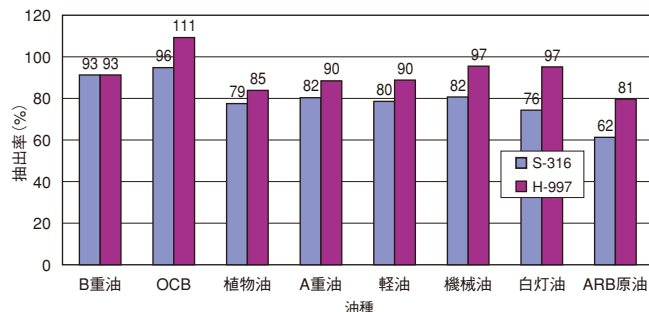
0~200mg/Lのダイナミックレンジの採用で、低濃度測定から高濃度測定まで、レンジ切り替えなしで可能。高精度な測定を、より迅速に行うことができます。

安全性にすぐれた抽出溶媒H-997に油分を抽出。

OCMA-305は、試料水中の油分を溶媒H-997に抽出し、赤外線分析計でその含有量を測定する赤外線吸収法を採用しています。



抽出溶媒S-316との抽出効率の比較試験において、各油種にて同等の抽出効率を有しています。



S-316とH-997の抽出効率比較(測定機種:OCMA-300/OCMA-305)
弊社試験例結果による(校正液 B重油100mg/Lにて)

見やすいデジタル表示で、読み取り誤差を追放。

測定値用の表示部にはバックライト付LCDを採用。最小単位0.1mg/Lまで見やすく、はっきりと表示し、アナログ表示のような個人による読み取り誤差がありません。

装置の動作状況や

エラー内容などを日本語表示。

メッセージ表示部を標準装備。操作方法やアラームの案内、動作モードの表示など各種メッセージを表示することで、作業の効率化を実現しています。



専用シリンジで

試料水・溶媒を完全に定量化。

試料水・抽出溶媒を完全に定量化すると共に、手の脂の付着などによる測定誤差をなくすために、専用シリンジを用意。また、試料水と溶媒の比率を2:1に固定し、測定レンジごとの操作を単純化。誰にでも迅速・正確な測定が可能です。



攪拌羽根をビルトインし、抽出時間は10秒毎に設定可能。抽出槽に独自の攪拌羽根を採用。STARTボタンを押すだけで、強力に回転攪拌・混合を行います。また、試料水に合わせて油分の抽出時間を最小10秒から10分まで10秒刻みで設定が可能。より幅広い測定と抽出時間の統一による正確な測定を実現します。



この他にもHORIBA独自の 高機能・高性能を 標準装備。

ロータリーバルブの採用で、手動による弁の開閉が不要。排出弁にはロータリーバルブを採用。弁の開閉を手動で行う必要がありません。

ゼロ、スパン校正の自動化で 校正の手間を一掃。

校正作業を自動化することで、校正作業の大幅な省力化を可能にしました。

測定値の安定度を 装置が自動判断する 測定安定値表示機能を装備。

独自の演算処理機能により、測定値の安定した状態を装置が自動判断し、ホールド。常に安定したデータが得られます。

測定異常や装置異常を表示する 自己診断機能を装備。

測定時の異常や光源の劣化、モータや液送異常、電気系統の異常など各種異常をランプとメッセージで素早くお知らせ。高い信頼性を実現しています。

最大50件まで データメモリが可能。

検体番号や測定年月日・時分、測定結果などの情報は、最大50検体まで保存・呼び出しできます。

RS-232C、 セントロニクス インターフェース を標準装備。

お手持ちのパソコンやプリンタに、測定結果を出力できます。



仕様

測定範囲: 0~200mg/Lダイナミックレンジ

表示分解能: 0.1mg/L (0.0~99.9mg/L)、
1mg/L (100~200mg/L)

測定方法: H-997抽出非分散赤外線吸収法

測定対象: 水または海水中の油分

表示方式: バックライト付LCD (測定値用)

バックライト付キャラクタ表示LCD (メッセージ表示用)

再現性: 0~9.9mg/L: ±0.2mg/L ±1digit

10.0~99.9mg/L: ±2mg/L ±1digit

100~200mg/L: ±4mg/L ±1digit

所要量: 10mL (溶媒)、20mL (試料水)

抽出溶媒: H-997 (標準3本付属)

※H-997以外の溶媒は使用しないで下さい。

外部出力: セントロニクス出力 (プリンタ用)

RS-232C

周囲温度: 0~40℃

電源: AC100~240V (50/60Hz)、

消費電力: 約80VA

重量: 約7kg

外形寸法: 200 (W) × 315 (D) × 342 (H) mm

※プリンタにつきましては、市販のセントロニクス規格のプリンタが使用できます。

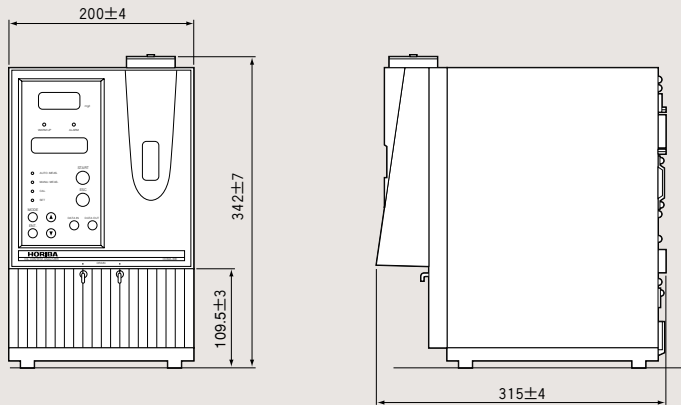
●推奨プリンタ: DPU-H245AP-A03A (パラレル) (セイコー電子製)

●正確な測定のために/
乳化剤や洗剤等の界面活性剤を含むサンプルを測定する際は、必ず本装置外部で溶媒に油分を抽出し、水を分離する必要があります。

H-997安全性データシート

名称	H-997 (商品名)
純度	99.7%
外装	容器材質: ガラス 容量: 0.65L 内容物重量: 1kg 梱包形態: 箱詰め
物性データ	比重: 1.55 沸点: 54℃ 融点: -131℃ 水への溶解度: 310mg/L at 25℃ 外観: 無色透明の液体 臭気: エーテル臭
火災・爆発危険性	分子量: 203 引火点: 無し 発火点: 520℃以上 爆発限界: 無し
反応性	安定性: 常温では安定 水との反応: 無し 酸・塩基との反応: 無し
関連法規	特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律 第2条第2項 (第1種指定化学物質) 別表第1 毒物及び劇物取締法: 該当しない 労働安全衛生法: 該当しない 特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律 (付属書Cグループ I)
環境影響	残留性/分解性: 活性汚泥で分解されにくい 生体蓄積性: 濃縮倍率64倍以下 生体毒性: 魚毒性: 48時間 LC50 (ヒメダカ) 83.5mg/L オゾン層破壊係数 (CFC-11を1.0とする): 0.025~0.033 地球温暖化係数 (CO2を1.0とし、積分期間を100年とする): 170~530
その他注意事項	油分濃度の測定以外に使用しないこと。 専用の再生装置で循環再生して使用することが望ましい。

外形寸法図 (単位:mm)



オプション

●油分抽出溶媒H-997専用 溶媒再生器SR-305

活性炭と活性アルミナの2層カラムにより、優れた操作性と再生能力を発揮します。

⚠️ 正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ず取扱説明書をお読み下さい。

- このカタログの記載内容は、改良のため予告なく変更することがあります。●このカタログに記載されている各社の社名、製品名及びサービス名は、各社の商標または登録商標です。
- このカタログと実際の商品の色とは、印刷の関係で多少異なる場合もあります。
- このカタログに記載されている内容の一部または全部を無断転載する事は禁止されています。
- このカタログに記載の製品は日本国内仕様です。海外仕様については別途ご相談ください。

**HORIBAは分析・計測技術で
地球環境保全に貢献します**

ハイテクの一步先に、いつも。

株式会社 堀場製作所

〒601-8510 京都市南区吉祥院宮の東町2 (075)313-8121 (代)

http://www.horiba.co.jp e-mail:info@horiba.co.jp

東北セールスオフィス (022) 308-7890 (代) 〒982-0015 仙台市太白区南大野田3-1 (第3エステート斉藤1F)
つくばセールスオフィス (029) 856-0521 (代) 〒305-0045 茨城県つくば市梅園2-1-13 (筑波コウケンビル1F)
東京セールスオフィス (03) 3861-8231 (代) 〒101-0031 東京都千代田区東神田1-7-8 (東神田フコク生命ビル)
横浜セールスオフィス (045) 451-2091 (代) 〒221-0052 横浜市神奈川区栄町2-9 (東部ヨコハマビル5F)
名古屋セールスオフィス (052) 936-5781 (代) 〒461-0004 名古屋市中区葵3-15-31 (住友生命千種第2ビル6F)
大阪セールスオフィス (06) 6390-8011 (代) 〒532-0011 大阪市淀川区西中島7-4-17 (新大阪上野東洋ビル4F)
広島セールスオフィス (082) 288-4433 (代) 〒735-0005 安芸郡府中町宮の町2-5-27 (古田ビル1F)
九州セールスオフィス (092) 472-5041 (代) 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-6-26 (安川産業ビル6F)
四国営業所 (0897) 34-8143 (代) 〒792-0011 愛媛県新居浜市西原町3-4-2

株式会社 堀場テクノサービス

本社/京都S.S. 〒601-8305 京都市南区吉祥院宮の東町2 (075)313-8125

北海道S.S. (011) 742-3395 東京S.S. (03) 3861-8233 北陸S.S. (076) 422-6112 山口S.S. (0834) 61-1080
東北S.S. (022) 308-7175 西東京S.S. (042) 322-3211 三重S.S. (0593) 46-2706 九州S.S. (092) 472-5042
栃木S.S. (028) 634-6098 横浜S.S. (045) 451-5571 京都S.S. (075) 313-8125 大分S.S. (097) 551-3982
千葉S.S. (0436) 24-3914 富士S.S. (0545) 33-3152 大阪S.S. (06) 6150-3661 熊本S.S. (096) 279-2985
鹿島S.S. (0299) 91-0808 浜松S.S. (053) 464-1339 兵庫S.S. (079) 284-8320
つくばS.S. (029) 863-7311 東海S.S. (0565) 37-3510 中・四国S.S. (086) 448-9760
埼玉S.S. (048) 298-6871 名古屋S.S. (052) 705-0711 広島S.S. (082) 283-3378

カタログNo. HRA-1919D

この印刷物は、E3PAのゴールド基準に適合し地球環境負荷に配慮した印刷方法にて作成されています。
E3PA:環境保護印刷推進協議会



Printed in Japan ZK-R(SK)33